

平成27年度

決算及び事業報告について

自 平成27年10月 9日  
至 平成28年 3月31日

一般社団法人 東北地域医療支援機構

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
未収金	687,901	未払金	687,901
流動資産合計	687,901	流動負債合計	687,901
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)特定資産		固定負債合計	0
クウェート国友好医学生修学基金	1,500,000,000	負債合計	687,901
東北医科薬科大学医学生修学基金	25,000,000	III 正味財産の部	
特定資産合計	1,525,000,000	基金	1,525,000,000
固定資産合計	1,525,000,000	(うち特定資産への充当額)	(1,525,000,000)
		正味財産合計	1,525,000,000
資産合計	1,525,687,901	負債及び正味財産合計	1,525,687,901

## 貸借対照表に対する注記

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
クウェート国友好医学生修学基金	0	1,500,000,000	0	1,500,000,000
東北医科薬科大学医学生修学基金	0	25,000,000	0	25,000,000
合計	0	1,525,000,000	0	1,525,000,000

# 正味財産増減計算書

(平成27年10月9日から平成28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	0
(2) 経常費用	0
① 事業費	0
② 管理費	0
経常費用計	0
当期経常増減額	0
2. 経常外増減の部	0
(1) 経常外収益	687,901
(2) 経常外費用	687,901
当期経常外増減額	0
II 指定正味財産増減の部	0
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 基金増減の部	
基金受入額	1,525,000,000
基金返還額	0
当期基金増減額	1,525,000,000
基金期首残高	0
基金期末残高	1,525,000,000
IV 正味財産期末残高	1,525,000,000

## 附属明細書

### 未収金明細書 (単位:円)

項目	期末残高
寄附金(東北医科薬科大学)	687,901
合計	687,901

### 特定資産明細書 (単位:円)

項目	期末残高
クウェート国友好医学生修学基金積立資産	1,500,000,000
東北医科薬科大学医学生修学基金積立資産	25,000,000
合計	1,525,000,000

### 未払金明細書 (単位:円)

項目	期末残高
消耗品費	115,105
租税公課	420,000
支払手数料	152,796
合計	687,901

### 基金明細書 (単位:円)

名称	期末残高
クウェート国友好医学生修学基金	1,500,000,000
東北医科薬科大学医学生修学基金	25,000,000
合計	1,525,000,000

# 平成27年度事業報告書 (第1回)

自平成27年10月9日 至平成28年3月31日

## 1. 事業の実施状況

### (1) 法人の設立

- ・一般社団法人東北地域医療支援機構（以下、「機構」という。）は、東日本大震災からの復興、今後の超高齢化と東北地方における医師不足、東京電力福島第一原子力発電所事故からの再生といった地域の要請をふまえ、宮城県及び学校法人東北薬科大学と連携し、東北医科薬科大学における資金循環型の修学資金制度への助成事業を行い、医学部の学生を経済的に支援することにより、地域医療を支える医師を育成することを目的とし、平成27年10月9日に設立した。
- ・設立時社員は、宮城県および学校法人東北薬科大学（現東北医科薬科大学）の2名である。

### (2) 賛助会員の募集

- ・賛助会員は、将来、指定医療機関として医師を受け入れ、負担金を機構に拠出する団体である。
- ・賛助会員会費は、情報提供費用、法人運営事業経費として、1団体当たり年間12万円の負担とする。
- ・平成27年12月22日付で宮城県内の自治体病院等20団体に募集通知を発信し、全ての機関から入会の申込があり、28年2月9日付で入会承諾書を発行した。

### (3) 宮城県、学校法人東北医科薬科大学からの基金拠出金の受け入れ

- ・基金の目的は、機構が、学校法人東北薬科大学が創設する「東北地域医療支援修学資金」の原資への助成を行う「東北地域医療支援修学資金原資助成金交付事業」に要する財源を確保することである。
- ・機構は、「東北地域医療支援修学資金（資金循環型・宮城県枠）原資助成基金」において平成28年3月14日に、宮城県から15億円の拠出金を受け入れた。
- ・また、機構は「東北地域医療支援修学資金（資金循環型・東北5県枠）原資助成基金」において平成28年3月16日に、学校法人東北薬科大学から25百万円の拠出金を受け入れた。

### (4) 特定資産の運用

- ・助成基金は特定資産とし、修学資金制度助成資金積立資産として管理するが、基金受入額が貸与額を上回る期間については差額の運用により運用益の確保が可能である。
- ・運用に際して、元本の安全性を最優先とし、定期預金等での運用を検討した。
- ・その結果、宮城県から受け入れた基金の額15億円から、28年度に学校法人東北医科薬科大学に助成を行う1.5億円を差し引いた13.5億円について下記のとおり運用することに決定した。

三井住友信託銀行      コーラブル定期預金8.5億円  
三菱UFJ信託銀行      コーラブル定期預金5.0億円

### (5) 理事会の開催

- ・以下のとおり理事会を開催した。

第1回理事会      平成27年11月25日開催

- 協議事項
1. 会員規程制定の件
  2. 事務局組織規程制定の件
  3. 事務局構成員選任の件

第2回理事会      平成28年1月26日開催

- 協議事項
1. 修学資金に関する協定書締結の件
  2. 基金取扱規程・募集要項制定、基金拠出契約締結の件
  3. 助成金交付要綱制定の件
  4. 賛助会員入会承認の件
  5. 寄附金取扱規程・募集要項制定の件

第3回理事会      平成28年3月24日開催

- 協議事項
1. 基金運用方針制定の件
  2. 平成28年度の基金運用の件
  3. 平成28年度事業計画の件
  4. 平成28年度収支予算書の件
  5. 事務局構成員の選任の件

## 2. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

法令に準拠した定款を策定するとともに、諸規程を整備し、理事会の的確な運営を行うことによりガバナンス体制の整備を行った。

法令・定款への適合が判断しにくい場合には、弁護士、税理士等に事前に相談し、適正な判断を行う。

また、理事の職務にかかわる下記の重要文書を適切に管理し保存するとともに、閲覧可能な状態を維持する。

- ① 社員総会議事録
- ② 理事会議事録
- ③ 計算書類

修学資金への助成原資の損失負担については、宮城県、東北医科薬科大学、機構が締結した協定書(資金循環型・宮城県枠、東北5県枠)のなかで明確に定めている。

以上